



令和8年度 山城中学校グランドデザイン

創立 50 周年の節目を大切に、
教育活動の様々な場面で意識
しながら、生徒、保護者、地域
と共に祝う。

自分をつくる

多様な社会で他者と共存しながら自分らしく生きていく力を身に付ける

教育基本法

目的：人格の完成を目指す

かながわ教育ビジョン

未来を拓く・創る・生きる人間力あふれる人づくり

自分らしさを発揮、自他を認め、心を育む

- ・互いに尊重し、共に認め合い、支え合う
- ・多様な考えを受け入れる

学校教育目標（S63年「山城中三つの心」）

思いやりの心を育てる

協力できる心を育てる

自分に厳しくする心を育てる

生徒の実態

- ・明るく 元気 人懐こい 素直
- ・行事に協力して取り組む ・いざという時の行動力
- ・学習習慣の定着が課題

平塚市教育振興基本計画 かなでプランⅢ

- ・夢と志を持ち、何事にもチャレンジする
- ・優しさと思いやりを持ち、自他ともに尊重する
- ・自ら学び考え行動し、社会との関わりを持つ

たくましい心身を育む

- ・表現する・チャレンジする・失敗を恐れない
- ・健康と安全の高揚、規則正しい生活習慣

【学習機会と学びの保障】

【全人的な発達・成長の保障】

何ができるようになるか（学校教育の基本） ↔ 何が身についたか（評価を通じた改善）

- | | | |
|---------------------------|----------------------|---------|
| ・主体的・対話的で深く学ぶ機会（聴く話すつなげる） | ・「つきたい力」の明確化 | ・ICTの活用 |
| ・基礎基本の習得、思考・判断・表現力の育成 | ・「見通し」「振り返り」の充実 | |
| ・学びに向かう力、人間性等の涵養 | ・自分の考えを比べ、広げ、深め、つなげる | |

支援と連携

- ・承認・感謝・聴く・共有（重点行動）
- ・教育的ニーズの把握、指導の方向性の共有
- ・SC、SSW等の内部資源と外部機関との連携

【実施するために何が必要か】

指導体制の充実

安全・安心を守る

学校運営協議会等との連携・開かれた学校づくり

・いじめ等に対し迅速かつ適切な対応する体制・細やかな相談
体制・学級、学年へ後方支援の指導体制・ICT機器の活用

・食育等をはじめとした健康管理等の徹底・教育施設や
教材等の環境整備・自己の身を守る防災防犯安全体制

・地域の人材、教材を生かす資源の活用・小中連携・PTA
組織と連携した家庭との協力体制・山背等での情報発信